

望遠鏡とドーム

栗田光樹夫

京都大学

170904

国立天文台

現在移設中

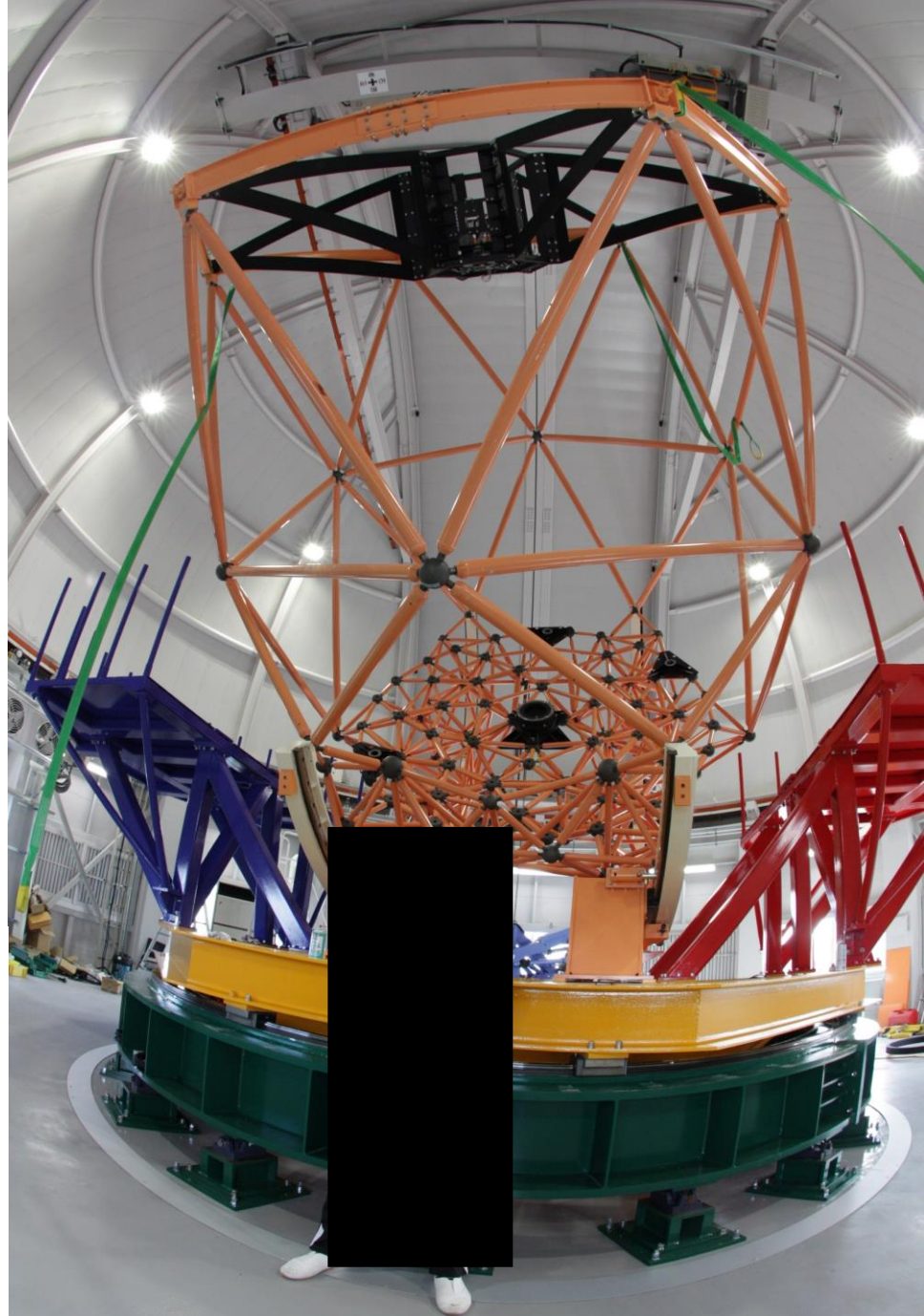
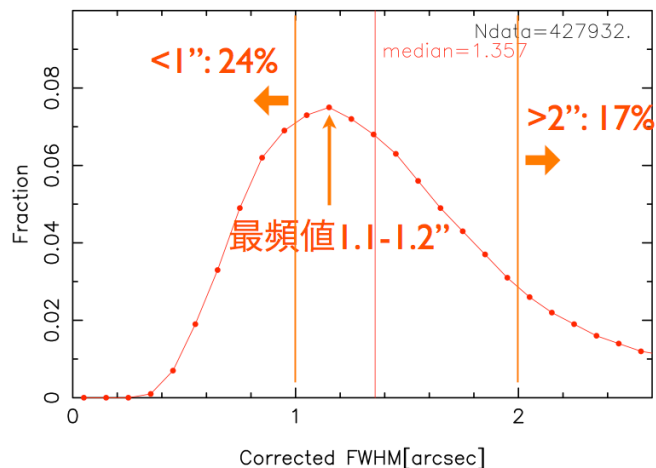




望遠鏡

光学系: RC 3.8m F/6
焦点: ナスミス×2
視野: 1'
観測波長: 可視ー近赤外線※
即応性: 全天を1分でカバー

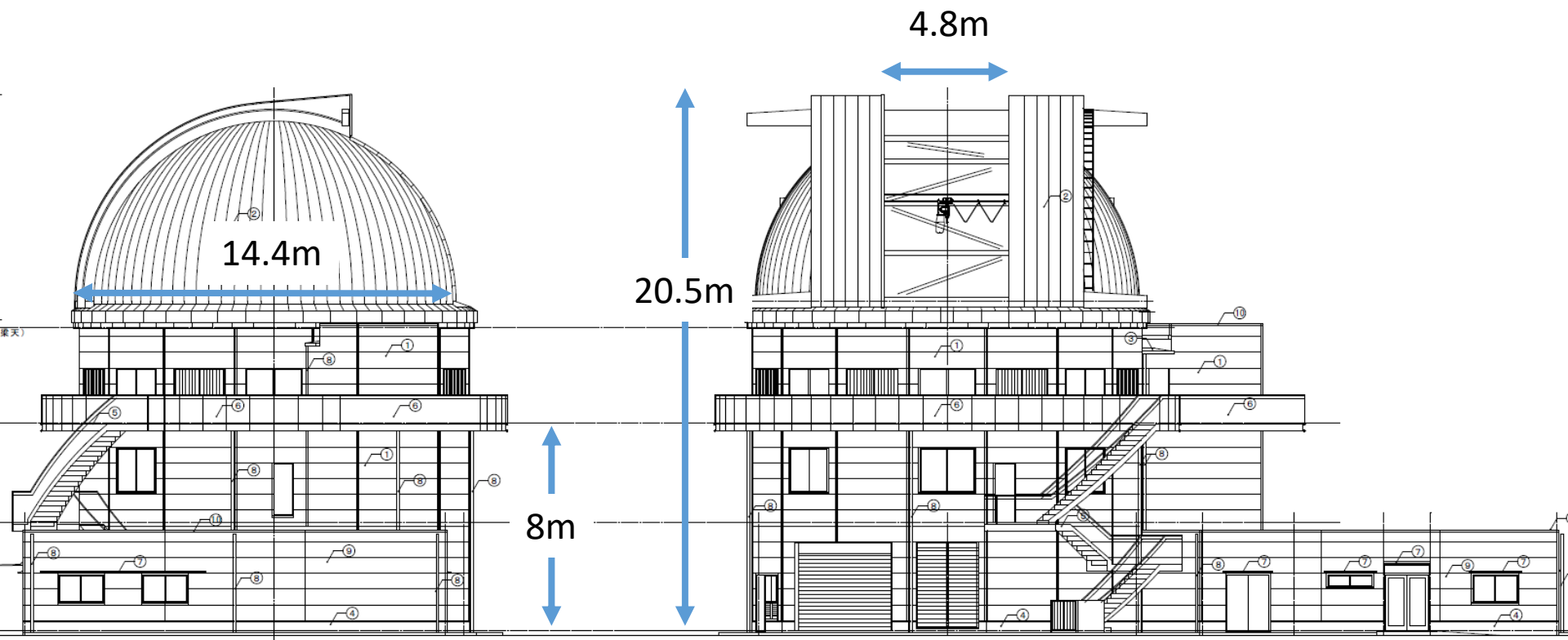
※バツフルが未検討のため、Lバンドより長波長は要相談。装置内部で対処すれば可



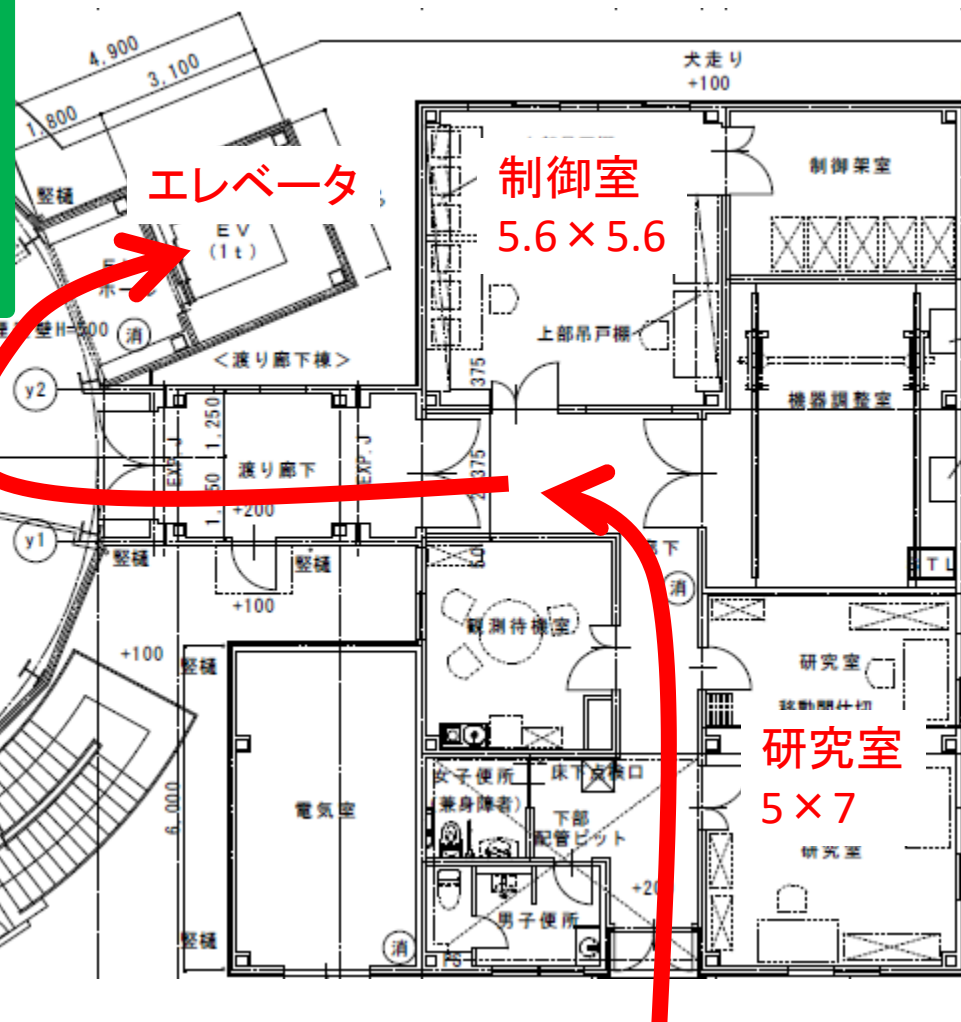
ドーム



ドーム外部寸法

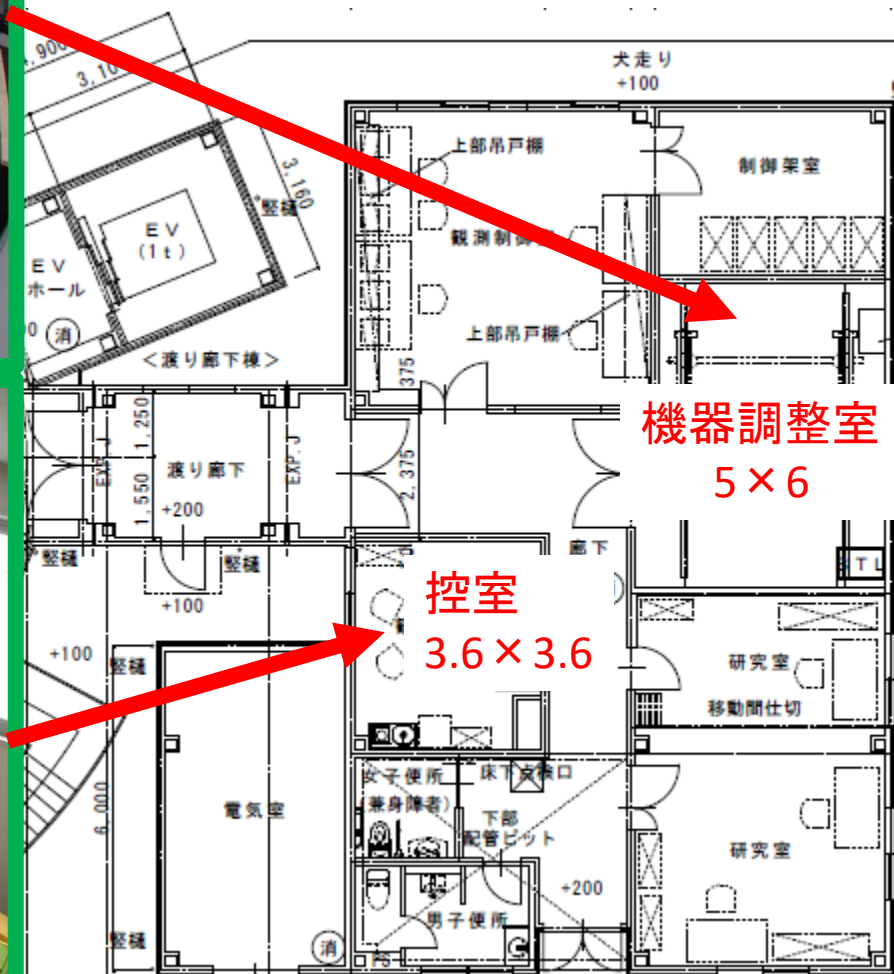


制御室と研究室

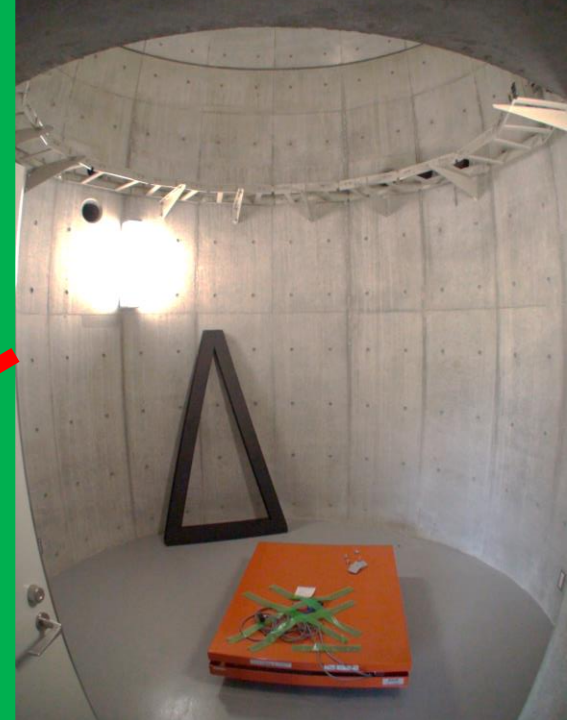
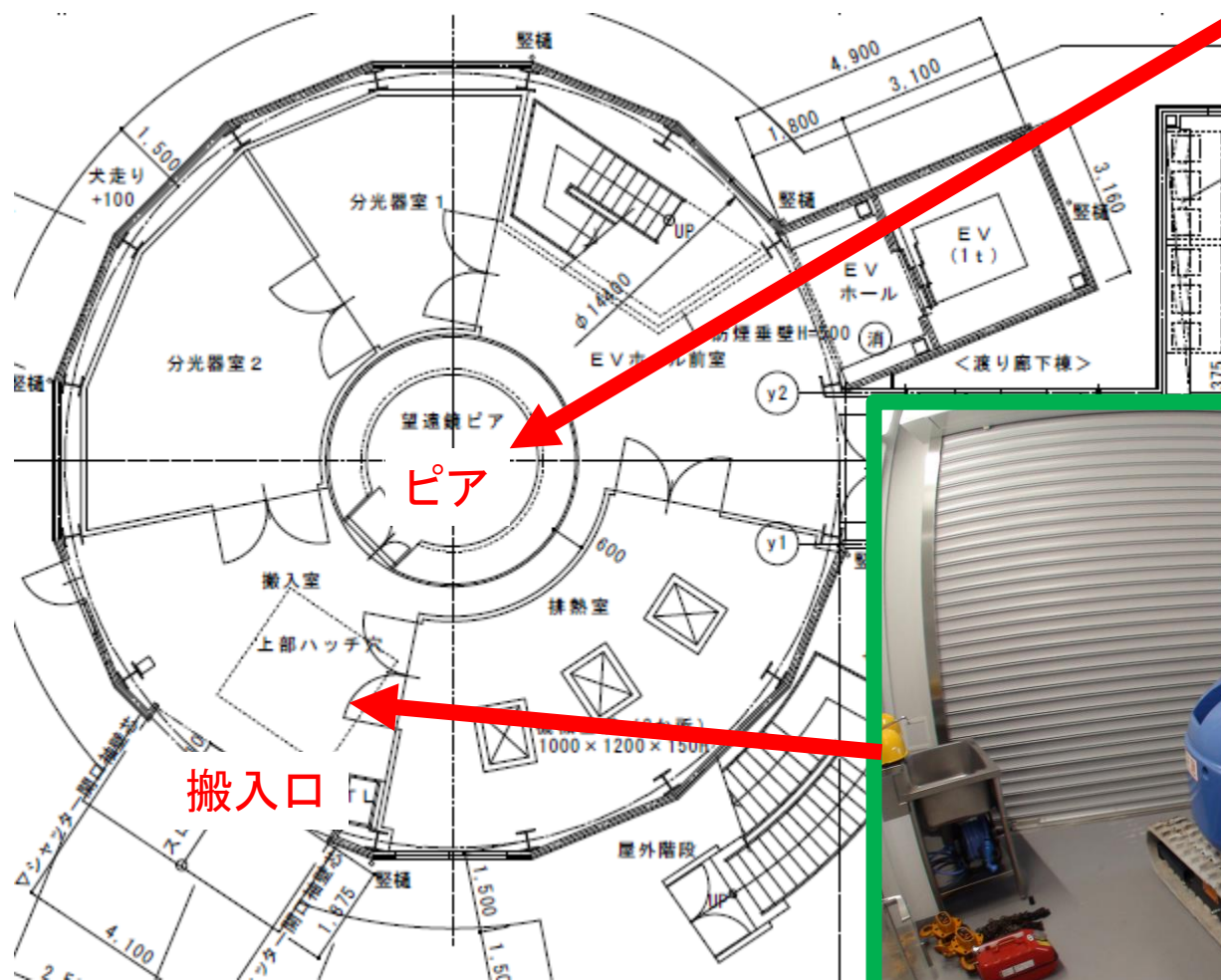




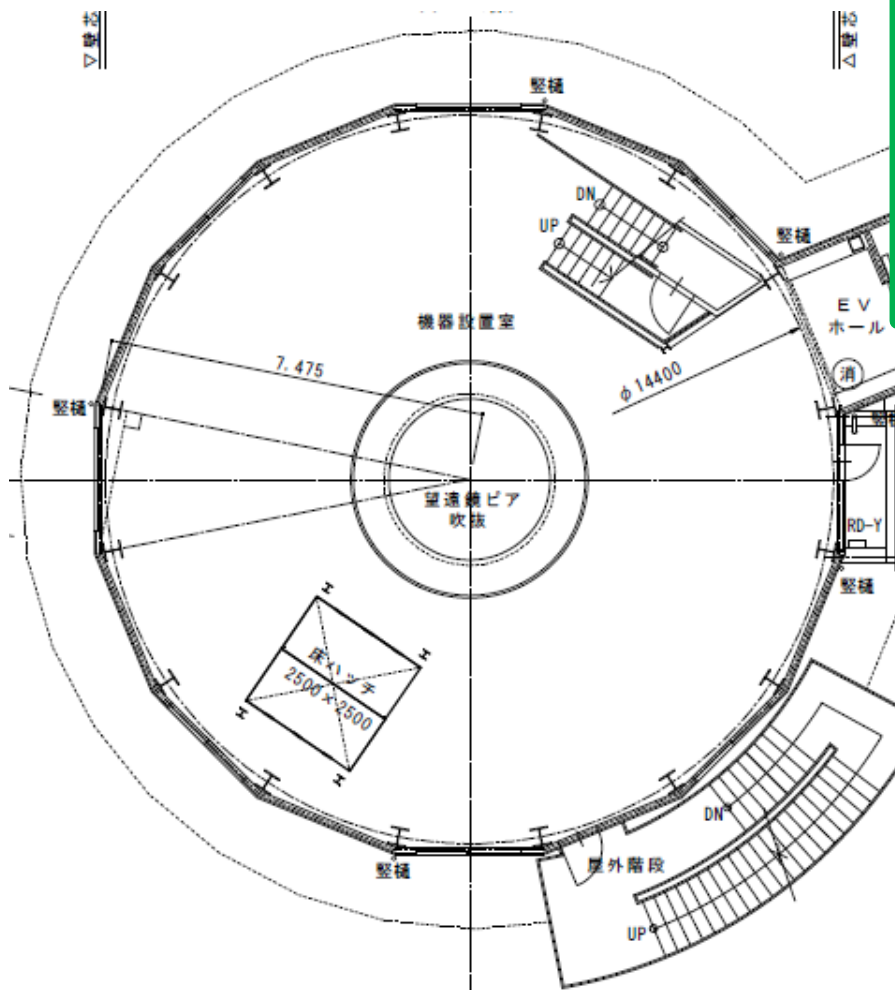
1F
装置と人の控室



1F ピアと搬入口



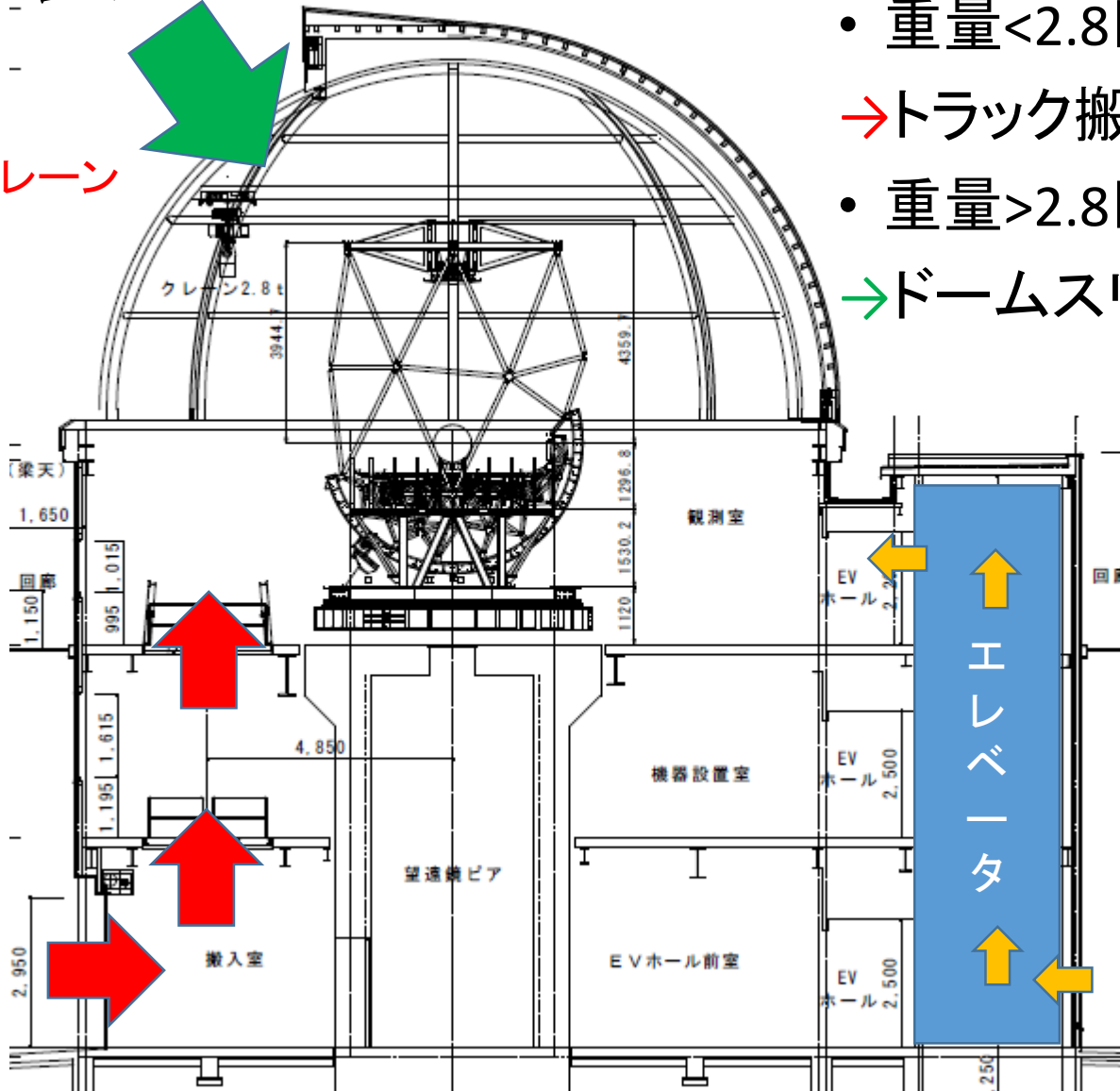
2F 物置と工作室



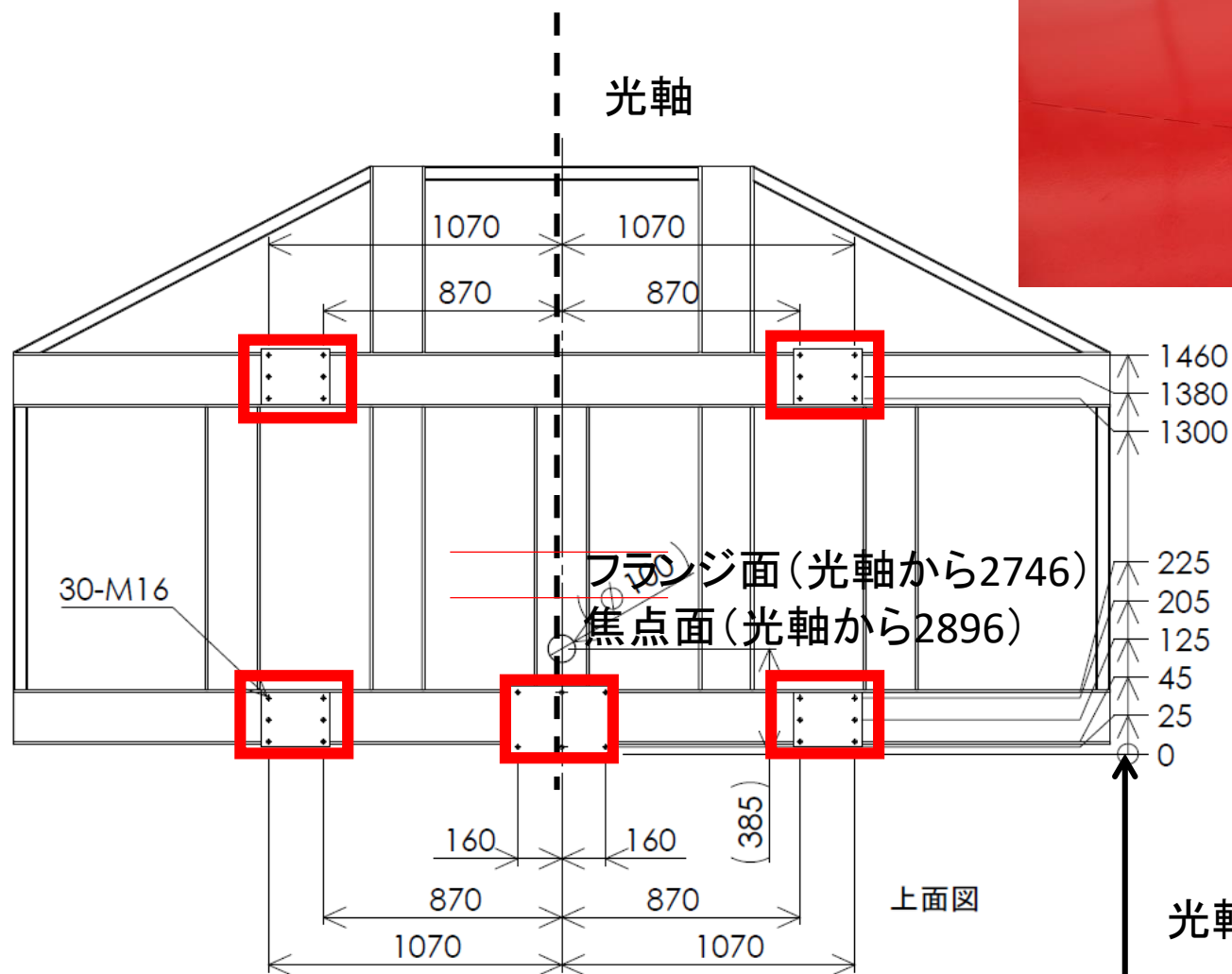
装置搬入

- 重量<1トン、幅<~ 1m × 1.5m
→エレベータ
- 重量<2.8トン、幅<2.5m × 2.5m
→トラック搬入口→天井クレーン
- 重量>2.8トン、幅<4.8m
→ドームスリット

2.8tクレーン



ナスミス台

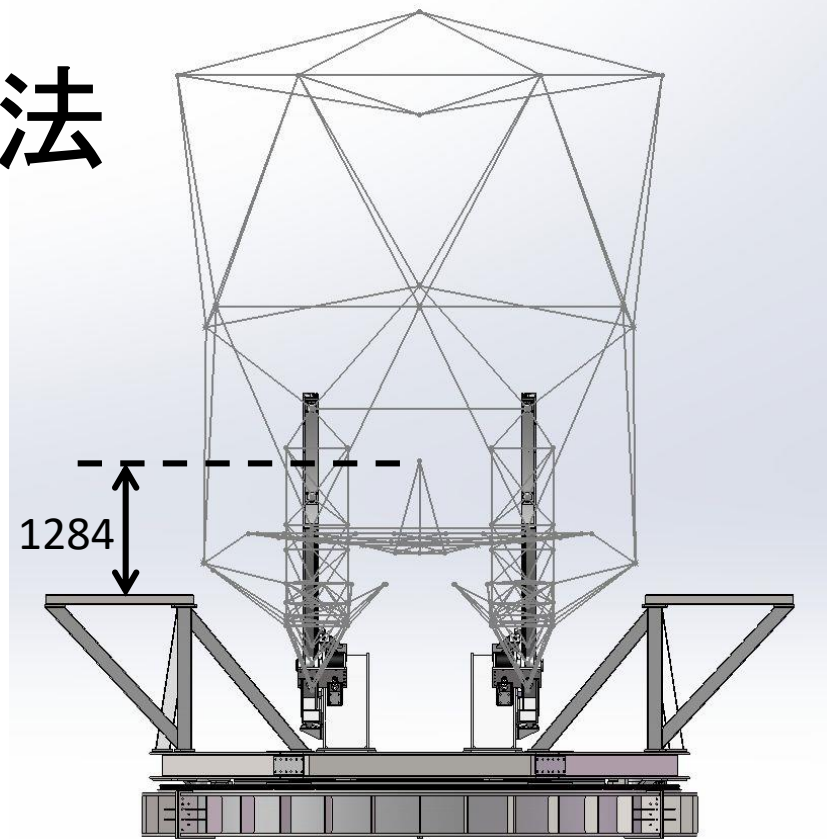


装置の固定は赤枠のハードポイントを使う

光軸から2146

ナスミス台機械寸法

高度軸とナスミスハードポイント上面の距離 1284mm

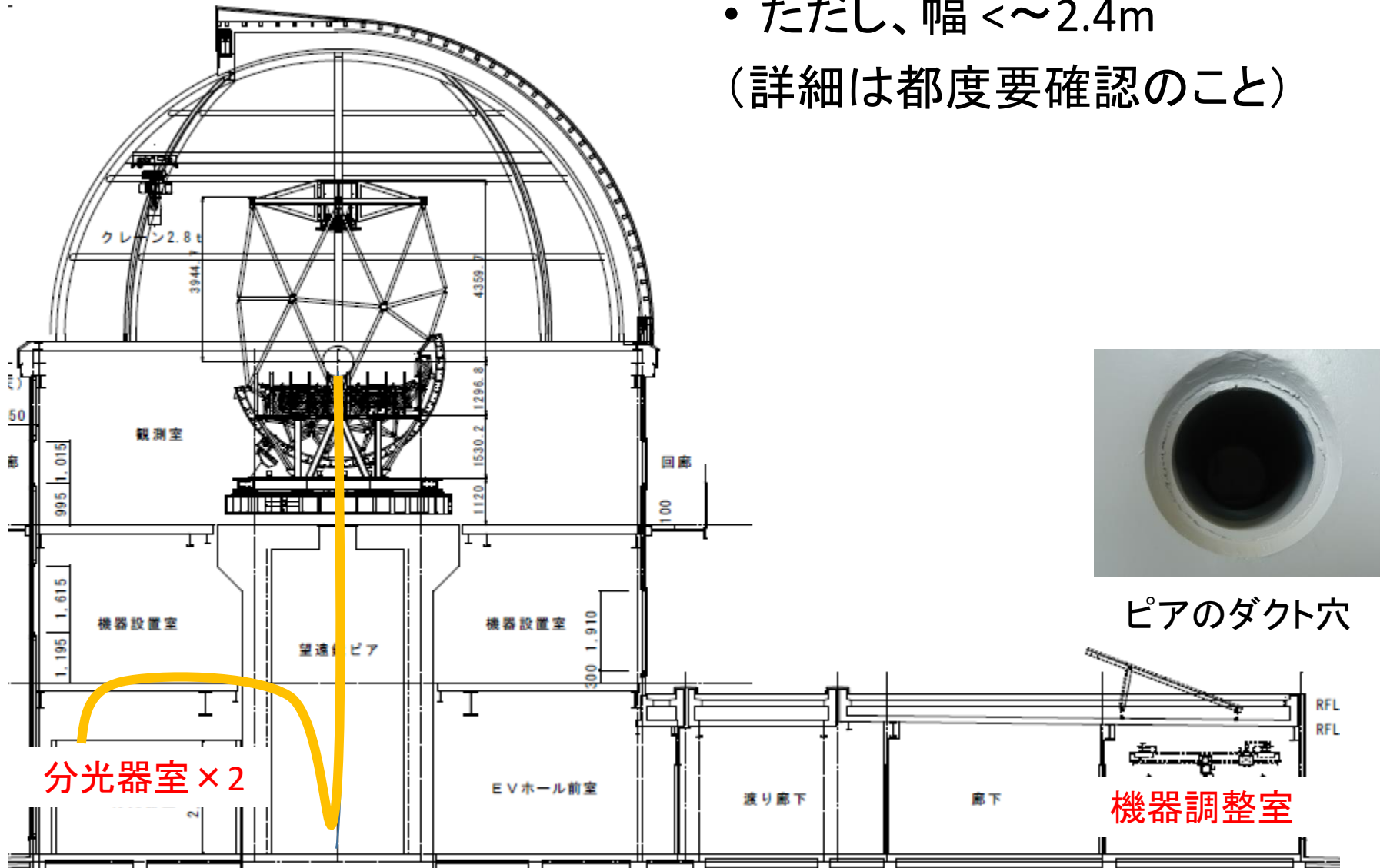


ナスミス台：<3トン

InR：<1トン、< $\phi 1500 \times L1500$

分光器室

- ファイバーフィードできる装置であれば、1階のフロアに設置可能で、重量は不問
- ただし、幅 < ~2.4m
(詳細は都度要確認のこと)



ピアのダクト穴

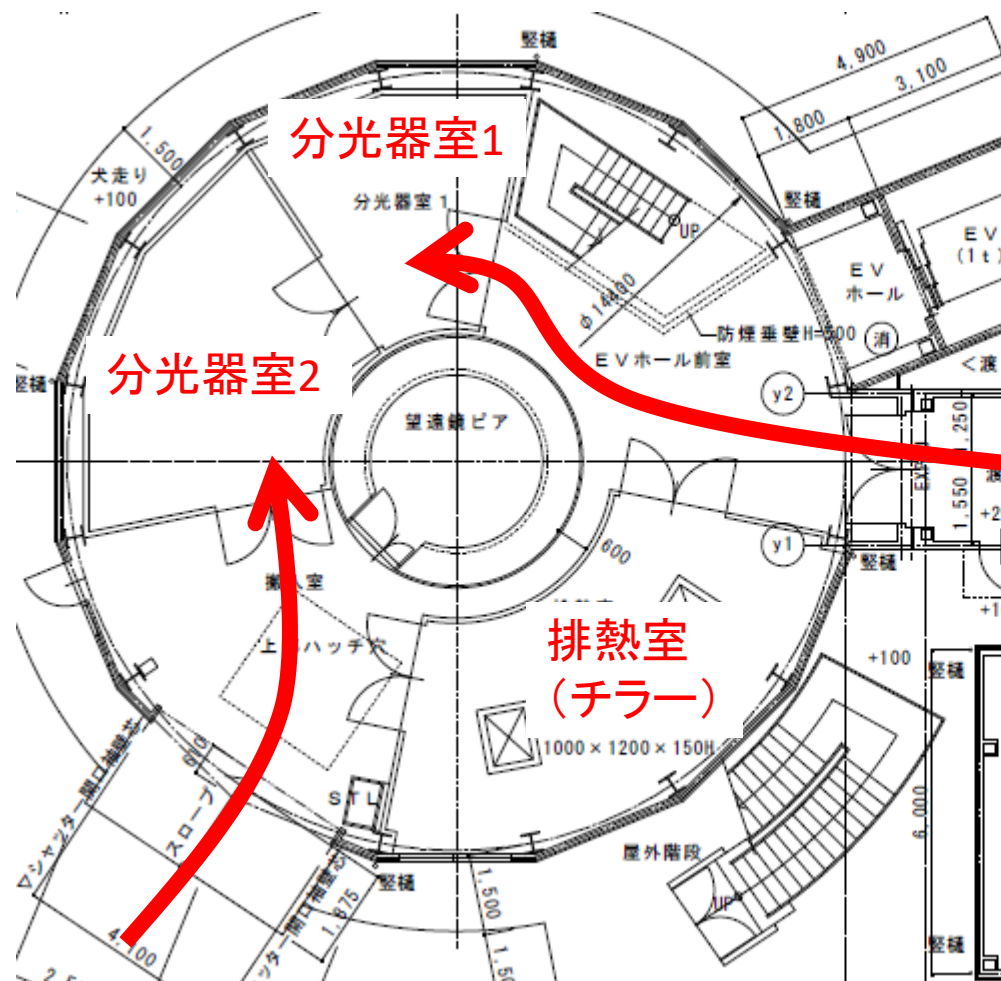
機器調整室

分光器室

2重壁で、空調付き

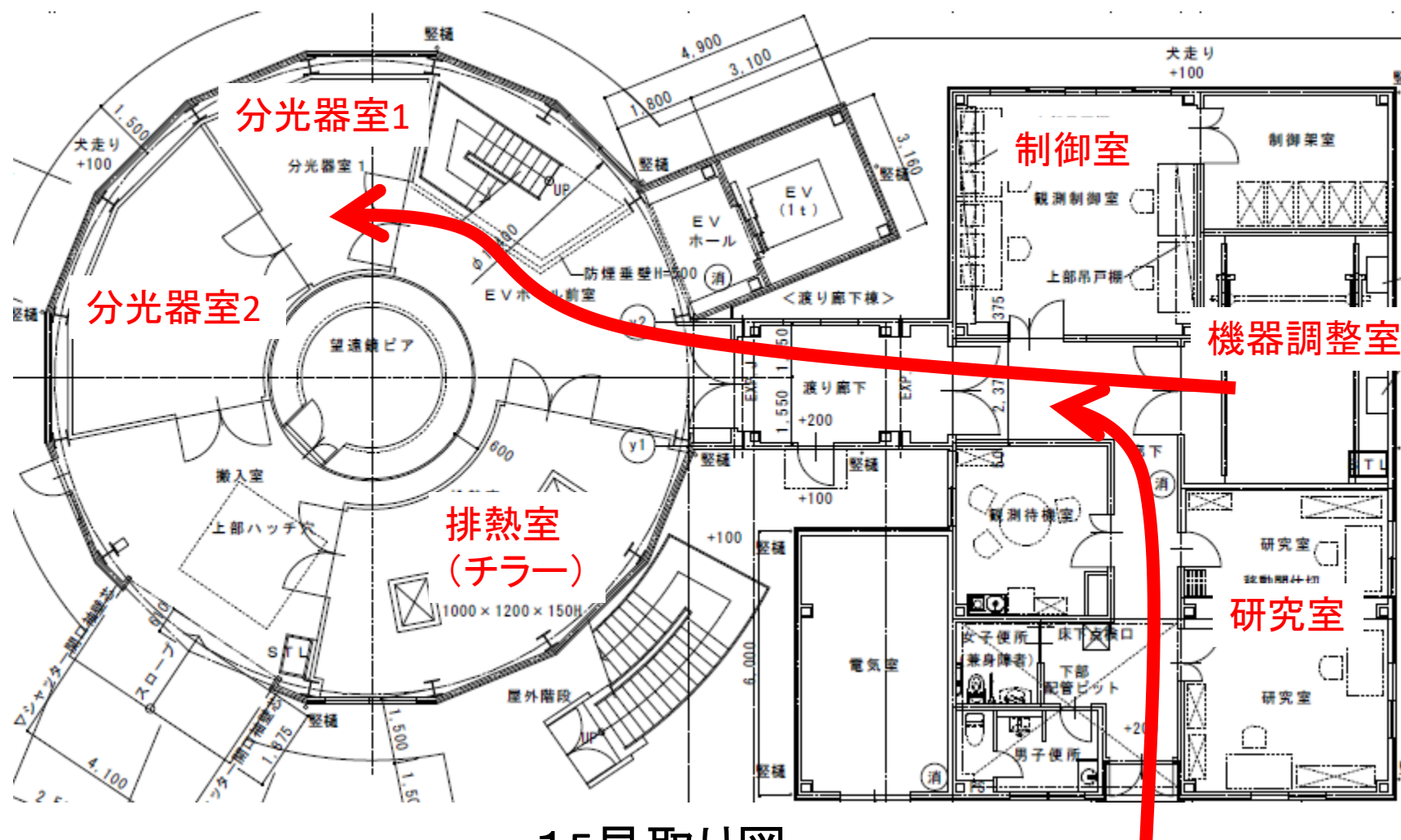


分光器室2と近赤外分光装置



1F見取り図

ドーム内部



1F見取り図

その他

- 観測中に望遠鏡フロアに行くときはエレベータを使わず、階段を使用してください(エレベータボックスの遮光性がない)
- シャワーや宿泊機能はない
 - 宿泊は本館を利用のこと
- 隣接の天文博物館にドーム内の映像が流される。
 - 放映時間: 10:00-17:00
 - ドームと制御室で配信をOFFにできるが極力配信にご協力ください
- 観測装置と制御室を特殊なケーブルで接続する際は、各自で備え付けのケーブルラックを使用して配線をお願いします。



TLC200 PRO 2017/07/21 13:57:22

スケジュール

- H29.12: 架台制御試験
- H30.3: 光学系インストール
- H30.夏: 分割鏡制御試験＋一部試験観測開始
- 3年目以降にリモート化を目指す
 - ただし、せっかくの国内観測施設なので、ぜひ来て観て触ってください

